

The background of the image is a sky filled with soft, white and light grey clouds. The lighting suggests a bright day, possibly near sunrise or sunset, as the clouds have a warm, golden glow. In the bottom-left corner, the dark silhouette of a tree branch with small leaves is visible, extending towards the center of the frame.

Unchanged Message

MAI with SNOWBIRD

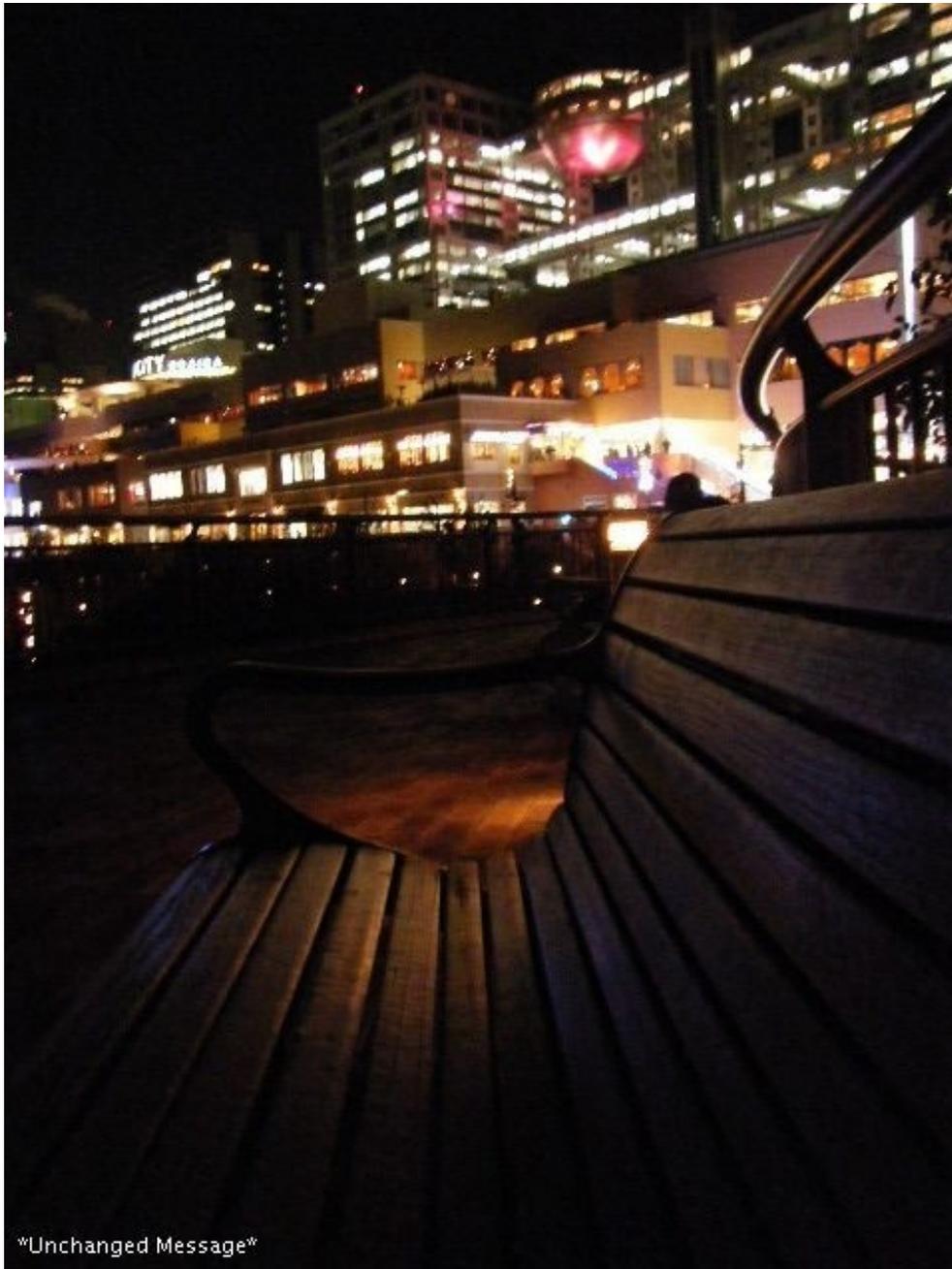


茨の道で傷を刻んでも
愛を伝えようとするあなたの背中を追って
私がたどり着いた場所

それは・・・

――あなたの心に、届きますように――

2011/05/29－For The 16th "Morality" Anniversary



The Promise of Time Traveler

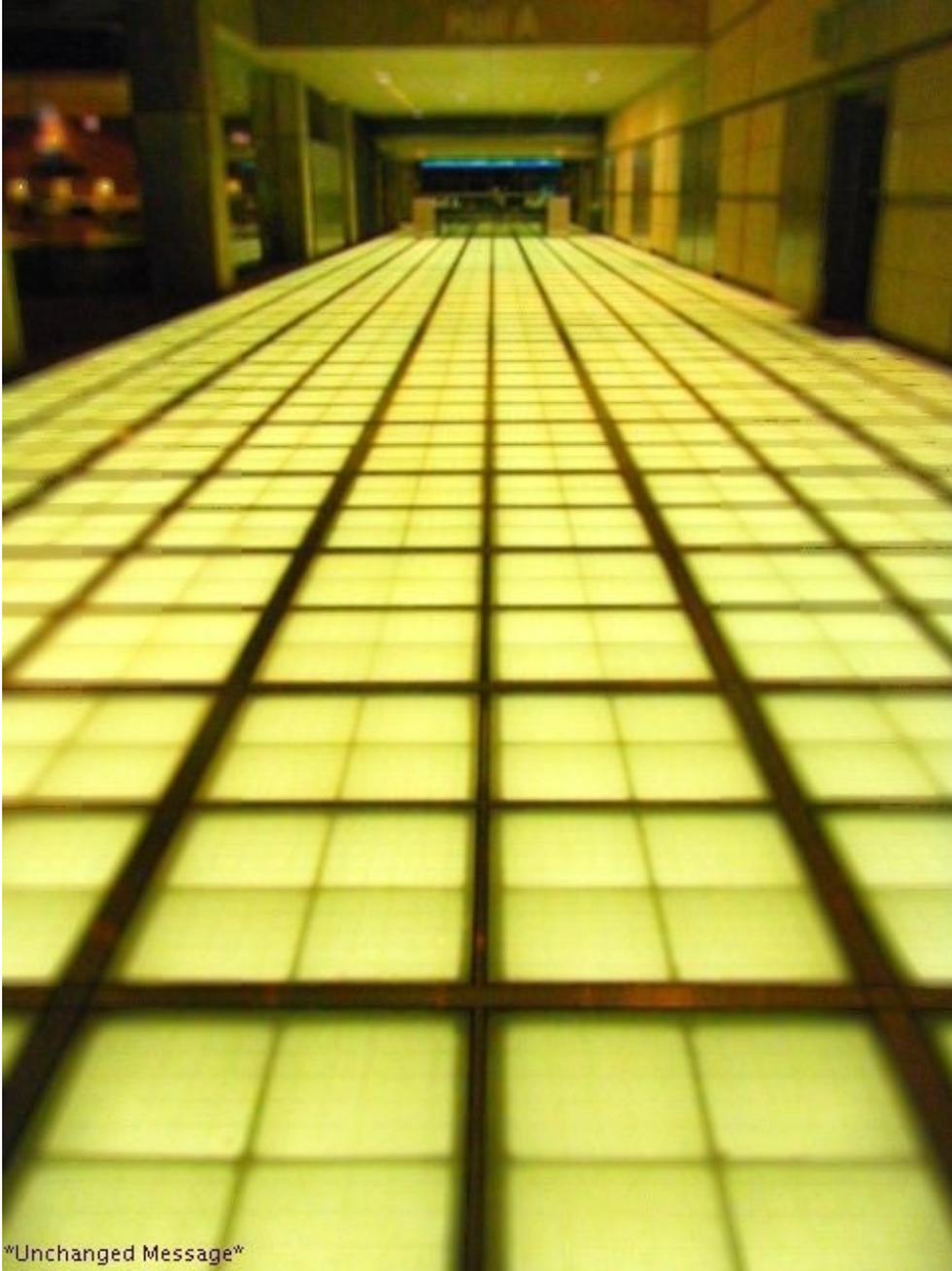
未来という名の約束のために
ずっと、愛し続ける――
確かなものなど何ひとつない
逃げたくなるようなこの世の中に
勇気を持って立ち向かうために
大切なものを守るために
変わらない思いを誓ったあの日



それが交錯するのは
ほんの一瞬だという
その一瞬に私を引き止めたのは
紛れもなく――あなたの声

あの日あなたがいなければ
今、私が見る風景は
違う色をしていただろう

そこに集う人々の刻む彩りが
私の道を華やかにする
この道の先に待っているものは
きっと色鮮やかな、未来



Unchanged Message

Doors to the Beautiful World

――「踊って頂けますか？」
愛しいあなたの差し出した手から
かすかに伝わるぬくもりが
私の心を惑わせる
満ちあふれる光の中で
尽きぬ想いを語り合う
ひたむきな心とまっすぐな瞳で
Lots of love――ありったけの愛をこめて

「そこに、あなたがいる限り。」

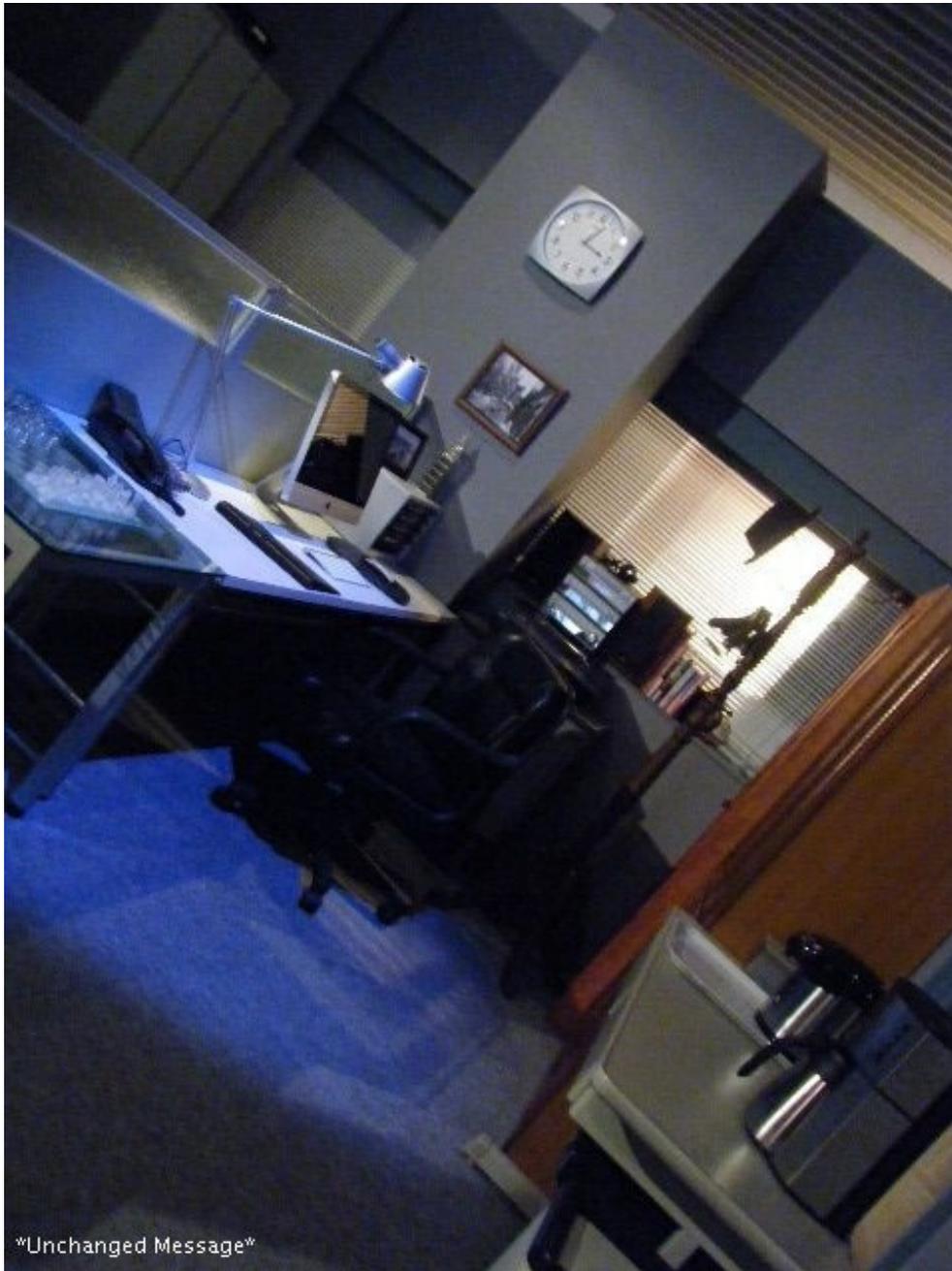


Road to 'LOVERS ONLY'

音色(おと)に満ち溢れたあの空間を
今でも時々思い出します
哀しみを脱ぎ捨てた、あの瞬間を...
私はもう迷わない
道の先に、あなたの姿がある限り
尽きぬ想いの足跡は
引き出しに隠したタカラモノ
Road to LOVERS ONLY...Forever...

2011/10/24 – For the Birthday of 'Mitchy'

「終わりの始まりの始まり」



いつか別れの日が来ても
私はあなたを忘れない

始まりがあるから、終わりがある

終わりがあるから、始まりがある

2011/06/03 – For "Partners" Anniversary



Break the Yesterday

蕨の道だと知りながら
それでも進もうとする者がいる

揺るぎのない昨日に
真っ向から挑んだ者がいる

僕は知っているのだ
僕がこれから目指す道も
蕨の道だということを

揺るぎない昨日への
挑戦に他ならないということ

だから僕は
君の姿に勇気もらった
一歩踏み出すという、勇気を

時の交差点に佇む僕の目の前を
不意に通り過ぎた君
その背中を追ううちに
僕はいつしか
あの頃の道に戻っていた

このまま進んでいけばいい

君の背中に
そう言われたような気がした
恐る恐る踏み出した一歩は
今、確かな一歩に変わる

もう迷わない
いつか君ともう一度出会うために
僕は胸を張って歩いていく

たとえそれが棘の道でも



Stray Longing

思いの強さは
時に激しく暴走する

愛すれば愛するほどに
迷走を始めるこの思いを
他人はわかってくれるだろうか

振りかざした言葉の刃は
いつしか自らを傷つける道具となった

愛すれば愛するほどに
増えていく自らの傷――

それでも僕は
心変わりを許せなかった

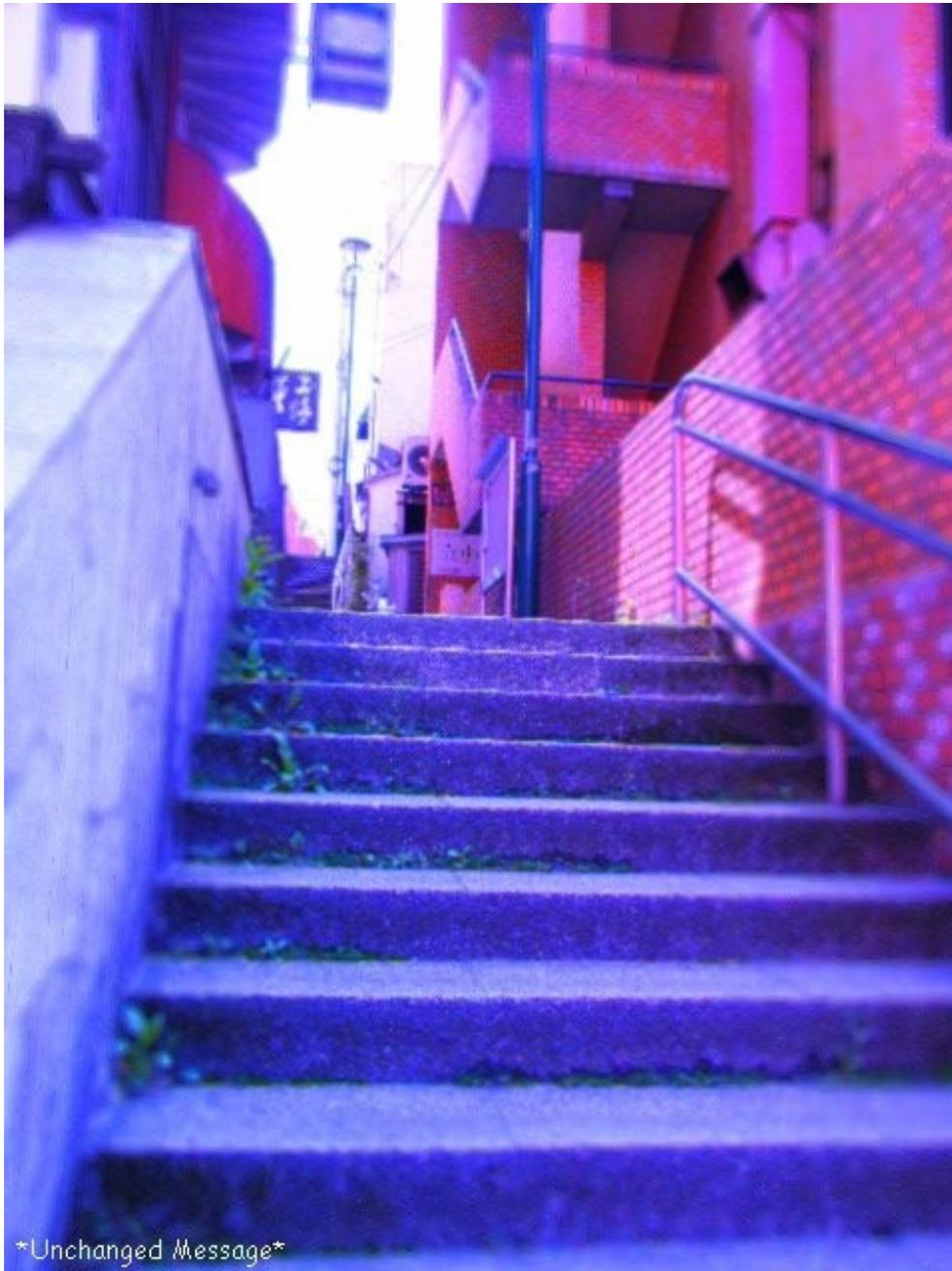
自らの傷と引き換えに
僕は悪意を手に入れた
責め立てることで
僕は僕自身の心を
そして記憶を守ろうとした

けれど僕は知っていた
そうしたところで何ひとつ
変わらないということを

これがただ虚しいだけの
迷走だということを

愛が悪意に変わる時
僕の心は血を流す
心に深く刻まれた傷を
他人は誰も知らない――

「未来へとつながる憂鬱の季節」



Melancholic Season to the Future

秋は
愛する者たちを惑わせる

秋の風は
愛する者たちを迷いの道へと誘い込む

迷いの道へと踏み込んだ者を待つのは
孤独な冬の嵐と先の見えない闇

それでもいつか
春の陽射しに出会うことを信じて
進むことを心に決めた者がいた

かすかに見える光だけを信じて
傷を負う覚悟を決めた者がいた

これほどまでに憂いを帯びた季節を
僕は見たことがあっただろうか
ささやかな喜びだけが
すべての支えとなるほどの
痛みに満ちた道を歩き
僕は独り、涙を流す

けれど……

その涙の後に広がっていたのは
まばゆいばかりの光に満ちた未来への道
道の先にあるものも
たどり着く場所も
何ひとつ見えることはないけれど
確かに示された歩むべき道

憂いの風が過ぎ去った時
僕に残るのは光る笑顔
傷と涙と引き換えに手にした
新しい光の世界への鍵

春は
愛する者の心を癒す

春の風は
愛する者たちを解放する

春の陽射しの先にある
夢という名の明日へ向けて



Requiem for "amour"

それはきっと
誰も知らない恋の歌
誰に知られることもなく
風に消えた旋律

歌わないことが
幸せな運命の恋の歌
誰に歌われることもなく
時に消えた想いは

今もそっとさまよっている

それでいい、と
淋しく呟く君の声
それは
僕だけが知っている
そっと投げ捨てた
叶わぬ恋に捧げる鎮魂歌

誰もその理由を知らない涙とともに
すべてを消そうと
たったひとりで口ずさむ

悲しい悲しい恋の歌
誰に届くこともなく
涙とともに、静かに消えた

いつか君にも
優しい歌が届きますように……

「僕の声は、僕を映す」



Ballade of Silhouette

僕は、ここにいる

そう叫んだ声は
いつしか消えてしまった

そして僕は
僕自身を見失ってしまった

僕はただ
気づいて欲しいだけだった
僕がここにいることを

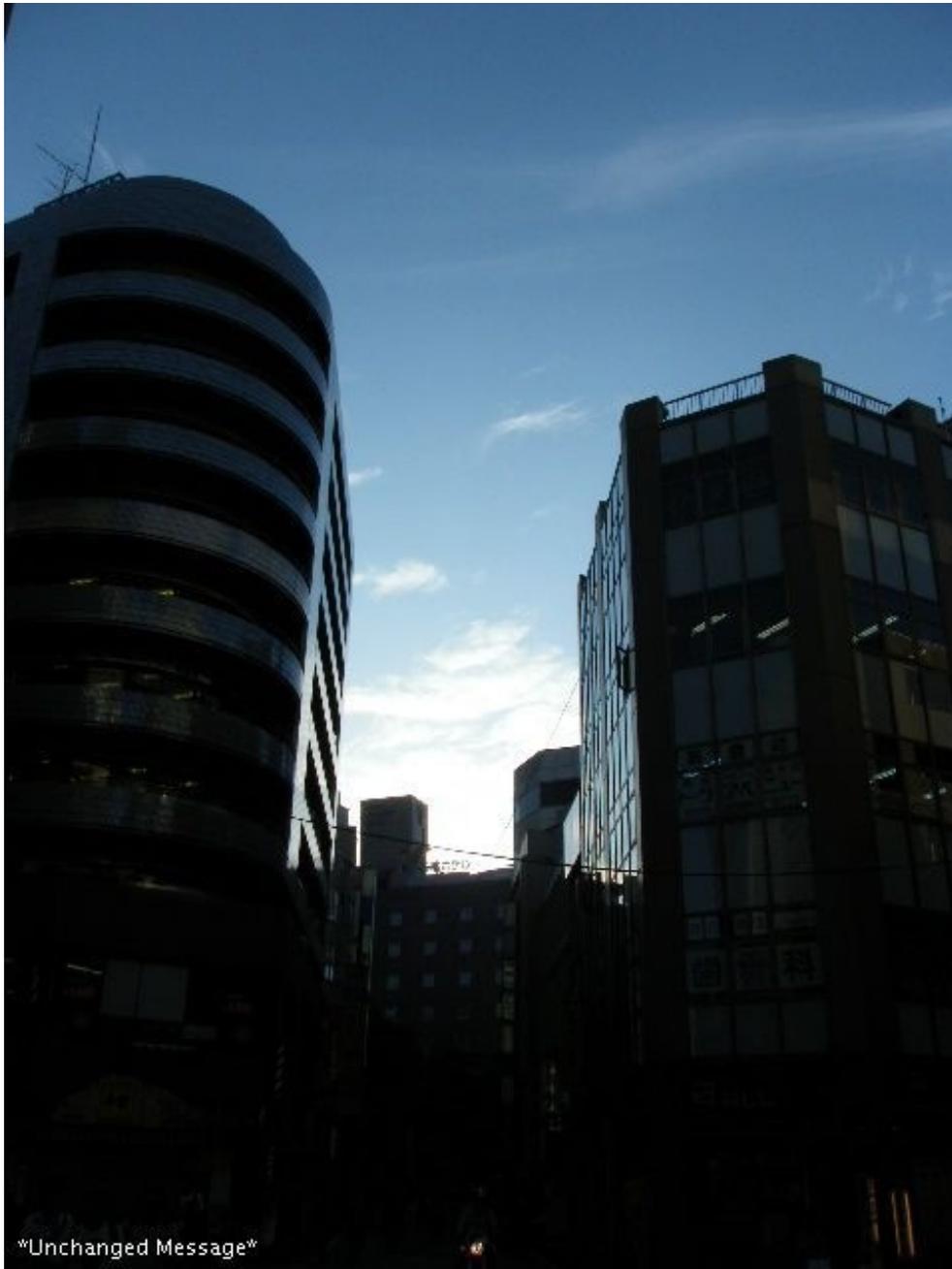
だから僕は、もう一度叫ぶ

僕の声は

僕自身を映し出す
その声で
僕は自分を思い出す

――僕は、ここにいる

「だから僕は、ここにいる」



You are not alone

——Message Vol.2——

僕は
孤独の中で生きてきた
僕は僕であることを
誰にも言えずに生きてきた

僕はただ一人で
ただひたすらに願ひ続けた

僕の言葉を聴いてくれる誰かに
―――出会いたい、と

僕は気づいていなかった

僕は初めから
一人きりではなかったことを
僕のそばには初めから
優しい眼差しがあったことを

だから僕は少しだけ
ほんの少しだけ前を向く

まっすぐに思いを伝えれば
受けとめてくれる誰かが
―――そばにいる

だから僕は、ここにいる

君のそばにも、きっといる・・・

「そして僕は、前を向く」



Choice the Future

— — — You are not alone Vol.2 — — —

人は時に
明日を選ぶ道に立つ
僕はこれまで
いくつの道を選んだだろう

そして今日
僕はまた新しい道に立つ
この先に待つ明日は
誰も知らない未知の世界

僕の旅立ち
は
ひとりきりかもしれない

けれど僕は知っている

僕がここに来るまで
見届けてくれた人がいることを

だから僕は胸を張って
いつの日もまっすぐ前を向く

僕の選んだ明日を信じて



Oh,What A Gift

生きることに迷った時
頭上の空の青さを
見上げながら、僕は思う

大丈夫、僕は独りじゃない…

笑顔でいつも迎えてくれる
見守ってくれる人のいる
帰れる場所に、心から感謝を



Sing, Under the Sky

ある日、僕は空を見上げた

この広い空の下
僕に何が出来るだろう

僕に出来るのはただひとつ

この広い空の下
思いを込めて歌うこと

僕の祈りは歌へと変わる
伝えたい思いは歌となり
この大空へと飛んでいく

今はまだ

小さな声かもしれないけれど
僕はまっすぐに歌い続ける

いつか誰かに届くまで・・・

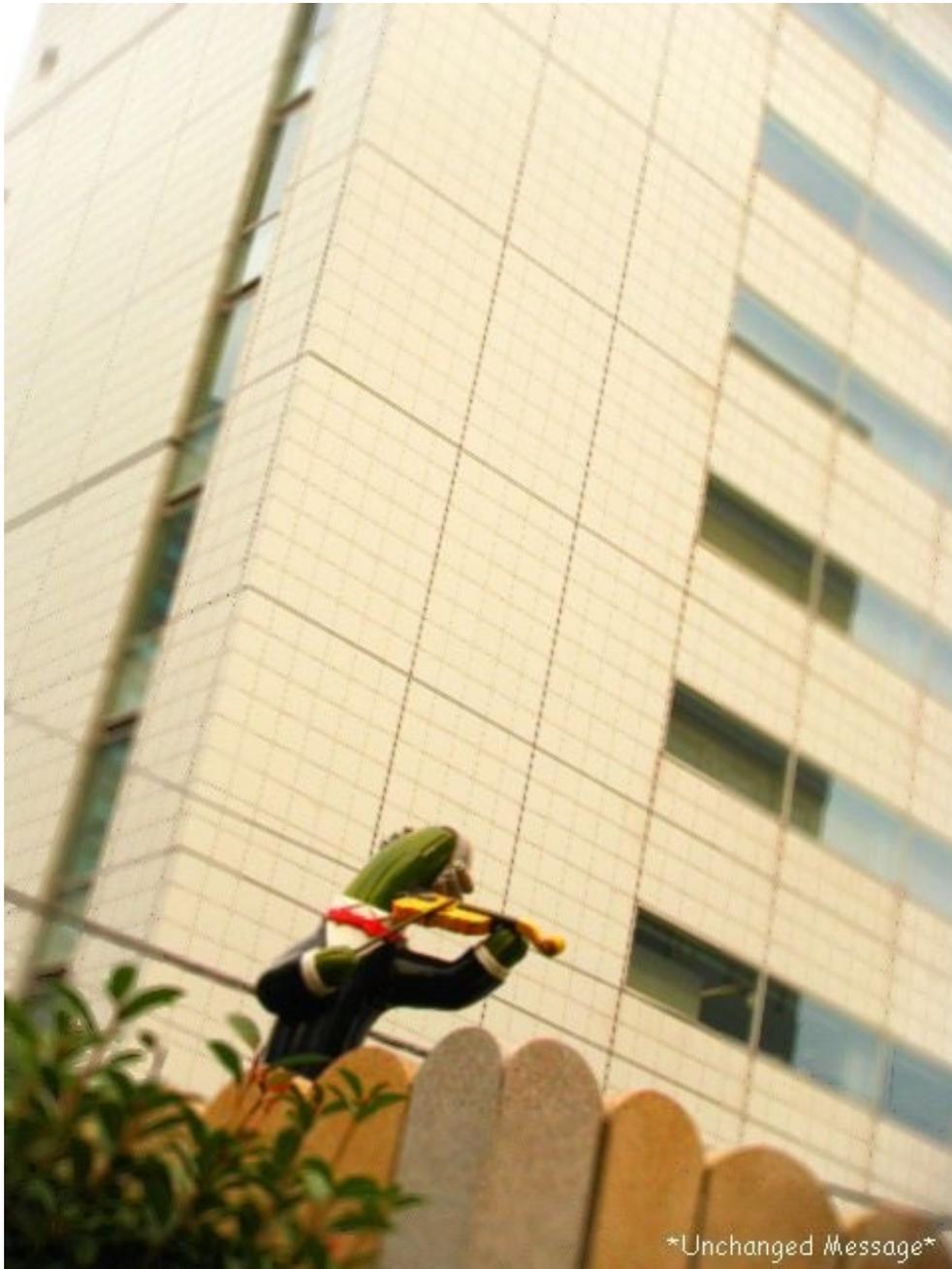


Sing,For the Future

— — Make the Change — —

一歩踏み出すだけでいい
ずっと探していた
未来は必ずそこにあるから
誰かとともに手を取り合って
描いた夢を歌声に乗せて
道はこの手で切り拓く
過去の涙を笑顔に変えて

「思いが、届きますように・・・」



Keynotes for Hermony

——Smile Vol.2——

ひとりでは

奏でられない旋律

——モノガタリ——がある

立ち止まったままでは

見つけられない音符

——コトバ——がある

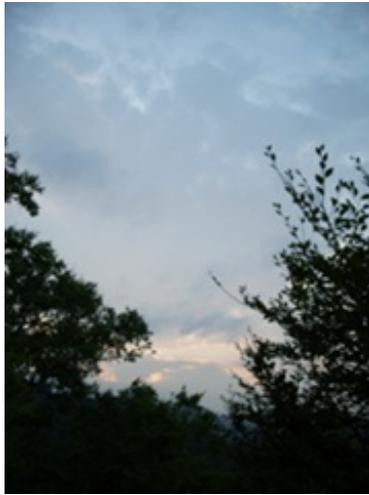
たとえば僕らが祈る時
ひとりひとりの歌声が
ひとつの思い
――ハーモニー――となる

ひとりでは
届かなかった声
――メッセージ――も
これできっと届くだろう

僕らの声が
誰かの笑顔――スマイル――に
変わりますように・・・

Unchanged Message

<http://p.booklog.jp/book/45644>



著者 : MAI with SNOWBIRD

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/gdttfwithsmiles/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/45644>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/45644>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ